【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公表番号】特表2002-524490(P2002-524490A)
【公表日】平成14年8月6日(2002.8.6)
【出願番号】特願2000-569777(P2000-569777)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/573　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/44　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/46　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　5/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　9/12
Ａ６１Ｋ　31/573
Ａ６１Ｋ　47/06
Ａ６１Ｋ　47/10
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｋ　47/44
Ａ６１Ｋ　47/46
Ａ６１Ｐ　5/38

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月31日(2006.8.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　薬用のエアゾールフォームの組成であって、有効な量の、
薬用活性成分、
閉塞剤、
水溶溶媒および
有機共溶媒を含み、
薬用活性成分は水および閉塞剤の両者に不溶であって、
閉塞剤は、使用の際、皮膚の上に閉塞層を形成するのに十分な量含まれる、薬用のエアゾールフォームの組成。
【請求項２】　非水溶性の薬用活性成分は、鎮痛剤、抗炎症剤、抗真菌剤、抗菌剤、麻酔剤、キサンチン、性ホルモン、抗ウイルス剤、痒み止め、抗ヒスタミン薬またはコルチコステロイドからなる、１つまたはそれ以上の群から選択される、請求項１に記載の薬用のエアゾールフォームの組成。
【請求項３】　薬用活性成分は、吉草酸ベタメタゾンおよびプロピオン酸クロベタゾールからなる、１つまたはそれ以上の群から選択されたコルチコステロイドである、請求

項１または２に記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項４】　薬用活性成分は、薬用のエアゾールフォームの組成の総重量に基づき、約０．００５重量％から約１０重量％の量含まれる、請求項１から３のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項５】　閉塞剤は、鉱油、長鎖脂肪酸、動物性脂肪、植物性脂肪および非水溶性ポリマーからなる、１つまたはそれ以上の群から選択される、請求項１から４のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項６】　閉塞剤はペトロラタムを含む、請求項１から５のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項７】　閉塞剤は、組成の総重量に基づき、約５５重量％またはそれ未満、好ましくは１０重量％から５０重量％の量含まれる、請求項１から６のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項８】　有効な量の乳化剤をさらに含む、請求項１から７のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項９】　乳化剤は、非イオン性、カチオンまたはアニオン界面活性剤、脂肪族アルコール、脂肪酸ならびに脂肪酸塩からなる、いずれか１つまたはそれ以上の群から選択される、請求項８に記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項１０】　乳化剤は、ソルビタンエステルおよびポリオキシエチレン脂肪族アルコールエーテルの混合剤を含む、請求項８または９に記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項１１】　乳化剤の成分は、組成の総重量に基づき、約１重量％から１５重量％の量含まれる、請求項８、９または１０に記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項１２】　水溶溶媒は、組成の総重量に基づき、約２５重量％から９５重量％の量含まれる、請求項１から１１のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項１３】　有機共溶媒は、組成の総重量に基づき、約０．２５重量％から５０重量％の量含まれる、請求項１から１２のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。

【請求項１４】　組成の総重量に基づき、好ましくは２．５重量％から２０重量％の有効な量のエアゾール噴射剤をさらに含む、請求項１１から１３のいずれかに記載の薬用のエアゾールフォームの組成。